



ほん ごう しょう
本 郷 小

学校だより
第 19 号
R4.2.18
発行者
校長 藤田雅也



まだまだ続く、新型コロナウイルス感染症・・・

ようやく全学級が登校できたかと思うと新たな学級閉鎖が・・・、2月に入ってから繰り返される学級閉鎖に、保護者の皆様にも大きな負担をおかけしているところです。申し訳ございません。

罹患者の様子を伺うと軽い風邪の症状と思われることが多いのですが、全国的に重症者の数も増加していることから、気を緩めること無く感染症対策に取り組んでいきたいと思えます。2月20日（日）までだった福島県の「まん延防止等重点措置」が延長されました（3月6日（日）までとなる見込みです）。学年のまとめの大切な時期ですので、早く収束してくれることを願うばかりです。自宅学習用に、タブレットを持ち帰る場合があります。自主学习や担任からの連絡等で活用するためですので、遊びや友達同士のやりとりに使用することは禁じています。ご家庭でもお声かけください。リモート授業は、家庭のWiFi接続環境等への対応が整うまで実施することができませんのでご理解ください。

学校では、縦割り清掃を中止して異学年交流を停止したり、学年体育も停止して学級ごとに行ったり（体育館を半分ずつ使用する場合もあります）、グループ活動等の密になる活動も停止したりしています。水飲み場も、特に歯磨き後の洗口時の飛沫を避けるために、一つおきに使用しています。ご家庭でも、感染症対策特に帰宅後の手洗いやアルコール消毒に皆さんで取り組んでみてください。新規感染者数が落ち着くまで、自宅でもできるだけマスクを着用することも考えられます。（会話をする場面等）

改めてのお願いとなりますが、本人はもちろんのことご家族に風邪症状が見られた場合は早めに受診するとともに、診察結果が分かるまで登校を控えてくださるようお願いいたします。また、職場で感染者が確認された場合も、保健所の指示を確認するまでお子様の登校を控えてくださいますようお願いいたします。第6波の収束まで、如何ともし難い状況が続きますが、よろしくお願いいたします。



水飲み場の密を防いでいます



ソーシャルディスタンスを意識させています



アルコール消毒の徹底を図っています



登校時にも体温チェックしています。



放送集会で交流を防いでいます。



縦割り清掃が無いので高学年がボランティア清掃を行っています。

※ 子どもたちが、少しでも伸び伸びと活動する場面も作るようにも工夫しています。

雪に親しむ会

2月10日(木)は、交流学年と仲良く雪に親しむ活動に取り組む計画でした。第6波の中であることから、異学年交流はやめて学級ごとに工夫して遊ぶ活動に変更しました。雪が堅く状態がよくなかったりしましたが…。子どもは遊びの天才ですね、雪合戦はもちろんのこと、穴掘りや雪のブロック積みを競い合ったり、雪山から転がり落ちたりと工夫して遊ぶ姿が見られました。高学年になると雪像作りに取り組む姿も！！

マスクを着用したり、ソーシャルディスタンスに気を付けたりと制限のある中でしたが、コロナ禍の中の閉塞感を吹き飛ばすかのように、伸び伸びと活動する姿が見られました。



表彰、おめでとう!!

○福島県音楽祭第3部(創作) 奨励賞 5年 川田眞子

○福島県書きぞめ展 奨励賞 1年 星 夏希 4年 佐藤遙歩



冬季オリンピック(北京大会)

現在、中国の北京において冬季オリンピックが開催されています。東京オリンピックからまだ半年ほどしか過ぎていないため、もう次のオリンピックかという思いでしたが、日本人選手の活躍や様々に繰り広げられるドラマに感動し、涙を誘われる場面も多い毎日です。コロナ禍の中ですので、休日にゆっくりとテレビ観戦している人も多いと思います。

中でも注目していたのは、「もぐもぐタイム」や「そだね～」で前大会銅メダルの「カーリング女子:コロソラーレ」です。彼女たちは、今大会も出場し、笑顔でのコミュニケーションを大切に勝ち星を積み重ねてきました。残念ながら予選最終戦のスイスに敗れ、決勝進出を諦めかけていた場面で、韓国が敗れることによる決勝進出の吉報が届きました。うれしさに泣き崩れお互いを支え合う4名の選手の姿は感動的でした。

スポーツは勝敗がある以上、うれし涙や悔し涙があるものです。しかし、笑顔を忘れずにコミュニケーションによるチームワークでお互いを支え合う姿は団体戦ならではのすばらしさだと思います。

私たち教員も、学級の子どもたちみんなとそのような関係性を築いていきたいと思っています。